

2008年度ナショナルチーム（NT）数の基準について

1. 2008年度ナショナルチーム（NT）数

NT 全体数を JOC 強化指定選手数と合わせた原則 36 名とする。

2. 対象艇種

（1）強化対象オリンピック艇種

北京オリンピック特別委員会が下記条件から検討し強化対象と認めた艇種。

ア、重点強化種目（470 男子、470 女子）

イ、活動実績（全日本選手権大会、NT 選考大会、世界選手権大会獲得成績）

ウ、活動状況（全日本選手権、NT 選考大会、世界選手権大会参加状況）

エ、活動環境（活動選手層）

オ、艇種別オリンピック出場実績

470 級男子

470 級女子

レーザー級男子

ラジアル級女子

49er 級

RS-X 級男子

RS-X 級女子

合計 7 艇種

（2）その他のオリンピック艇種

上記（1）以外のオリンピック艇種

3. 艇種別 NT 数（基本艇数・人数）

（1）強化対象オリンピック艇種

470 級男子	4 艇	8 名
---------	-----	-----

470 級女子	3 艇	6 名
---------	-----	-----

レーザー級男子	3 艇	3 名
---------	-----	-----

ラジアル級女子	2 艇	2 名
---------	-----	-----

49er 級	1 艇	2 名
--------	-----	-----

RS-X 級男子	3 艇	3 名
----------	-----	-----

RS-X 級女子	2 艇	2 名
----------	-----	-----

合計 26 名

（2）艇種別上限艇数

ア、強化対象オリンピック艇種：艇種別 NT 数（基本艇数）＋1 艇

イ、その他のオリンピック艇種：1 艇

（3）追加割り振り（入れ替え制度）

NT 全体数上限 36 名から「強化対象オリンピック艇種」基本艇数の人数 26 名を引いた残数 10 名について、2007 年度個人別ランキングの上位艇種から人数を割り振る。ただし 3.（2）艇種別上限艇数を超えないこととする。

人数が割り切れない場合はマネジメント委員会の判断で調整する。(例：残り1名のところに2名の艇が入った場合など)

- (4) 個人別ランキングは2007年世界選手権の成績をもとに決定する。
- (5) 強化対象オリンピック艇種、その他のオリンピック艇種の実績・活動状況において大幅な変動があった場合、3. 艇種別NT数(基本艇数・人数)を変更する場合がある。
- (6) 追加割り振り(人数)を獲得した艇種が「北京オリンピック日本代表選考方法」(2007. 2. 24)に基づき、獲得した権利を辞退した場合には他艇種への権利の移行は行わない。

4. NTに対する処遇

- (1) 36名のNT全体数は2008年度強化事業の補助対象選手とする。
*艇種別ランキング、個人ランキングにより補助内容は異なる
- (2) サプライヤーからの支援対象選手とする。

5. NT以外の選手に対する処遇

オリンピックキャンペーンを遂行するに当たり必要とあれば申請に基づき「オリンピック強化対象選手」(仮称)等の名称をオリンピック特別委員会として詰め、可能な範囲で支援を行う。

以上